

令和4年6月定例会 総務委員会（事前）

令和4年6月9日（木）

〔委員会の概要 政策創造部関係〕

増富委員長

休憩前に引き続き、委員会を開会いたします。（11時31分）

これより、政策創造部関係の調査を行います。

この際、政策創造部関係の6月定例会提出予定議案等について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【提出予定議案】（説明資料（その2））

- 議案第2号 令和4年度徳島県一般会計補正予算（第4号）
- 議案第7号 徳島県議会の議員及び徳島県知事の選挙における自動車の使用並びにビラ及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について
- 報告第2号 令和3年度徳島県繰越明許費繰越計算書について

【報告事項】

- 新たな総合計画の策定について（資料1）

村山政策創造部長

6月定例会に提出を予定いたしております政策創造部関係の案件につきまして、御説明申し上げます。

お手元の総務委員会説明資料（その2）の1ページを御覧ください。

令和4年度一般会計補正予算案でございます。

まず、一般会計の補正総額は、総括表一番下の計欄、左から3列目に記載のとおり、3,950万円を計上しております。補正後の予算総額は、その右の欄のとおり、68億2,609万7,000円となっております。

補正額の財源につきましては、財源内訳欄の括弧内に記載のとおりでございます。

2ページを御覧ください。

課別の主要事項につきまして、御説明申し上げます。

万博推進課でございます。

上から2番目の計画調査費の摘要欄①広域交流連携推進費のア、徳島「まるごとパビリオン」ゲートウェイ事業につきましては、徳島の魅力や万博に向けた取組を一元的に発信し、本県へのゲートウェイ機能を担うウェブサイトを構築することで、開幕に先行した魅力発信の強化に取り組む経費として1,950万円を計上いたしております。

次に、摘要欄②地方創生の深化のための支援費のア、とくしまバーチャルパビリオン発信力強化事業といたしまして、インターネット上の三次元仮想交流空間メタバースを活用し、去る5月13日にプレオープンしたとくしまバーチャルパビリオンについて、AR・VR技術を生かした体験コンテンツの充実やメタバース内での交流イベント開催など更なる進化を図るための経費として2,000万円を計上いたしております。

補正後の万博推進課の予算総額としましては1億3,065万1,000円となっております。
続きまして、その他の議案等につきまして、御説明申し上げます。

3ページを御覧ください。

まず、（1）条例案でございます。

①の徳島県議会の議員及び徳島県知事の選挙における自動車の使用並びにビラ及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例についてでございますが、これは公職選挙法施行令の一部が改正されたことに鑑み、選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公営に要する経費に係る限度額を引き上げるための改正でございます。

4ページを御覧ください。

次に、（2）令和3年度繰越明許費繰越計算書でございます。

さきの2月定例会で御承認いただきました繰越明許費につきましては、左から4列目、翌年度繰越額の欄に記載のとおり、8億7,013万円に確定したものでございます。

今後とも事業の早期完了に向けて努力してまいりますので、御理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

提出予定案件の説明は、以上でございます。

続きまして、この際、1点御報告申し上げます。

新たな総合計画の策定についてでございます。

お手元の資料1を御覧ください。

県政の運営指針であります現行の「未知への挑戦」とくしま行動計画につきましては、今年度をもって計画期間が終了することから、県では新たな総合計画を策定することとしております。

新たな計画は現行計画と同様、令和5年度からの新たな県政運営の指針として、県が進める政策の基本的な方向をまとめるとともに、地方創生に向けた県版総合戦略をはじめ、個々の計画に対する最上位の計画として、毎年度の予算編成や事業立案の基本となるものであり、徳島県が目指すべき将来像や実現に向けた施策をお示しするものでございます。

計画の構成内容につきましては、長期ビジョン、中期プラン、行動計画の三層構造とし、本県を取り巻く環境変化を捉えるとともに、現状や課題を的確に把握した上で、長期ビジョンや中期プランでは本県の目指すべき将来像や戦略を、行動計画ではその実現に向けた4年間に取り組む重点施策を示してまいります。

また、計画の期間は、令和5年度から令和8年度までの4年間とし、令和5年6月の策定を予定しております。

現在、徳島の将来を担う高校生、大学生といった若者をはじめ、広く県民の皆様方からの御意見をお伺いしているところであり、県議会での御論議も頂きながら策定作業を進めてまいります。

提出予定案件及び報告事項の説明は、以上でございます。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

増富委員長

次に、関西広域連合議会議員の山西副委員長から、関西広域連合議会の活動状況について報告を受けたいと思います。

【報告事項】

- 関西広域連合議会について

山西副委員長

関西広域連合議会における審議の結果等については総務委員会で報告する例になっておりますので、私から前回の報告以降に行われた事項について概要を申し上げます。

去る3月5日に大阪市において3月定例会が開催されました。

広域連合長から、令和4年度関西広域連合一般会計予算の件など計7件の議案が提出され、全て原案どおり可決されました。

そのほか、一般質問が行われ、本県からは私が質問を行い、大阪・関西万博で目指すものについて、カーボンニュートラルを推進する人材の育成についての2点に関して理事者の見解をただしたところであります。

その他の議員からは、広域交通インフラについて、関西広域連合の事業、組織の在り方について、地球温暖化対策の推進についてなどの質問がなされました。

最後に、ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議案の提出があり、原案どおり可決されました。

報告は、以上であります。

増富委員長

関連して、理事者において説明又は報告すべき事項があればこれを受けたいと思います。

【報告事項】

- 関西広域連合委員会について（資料2）

村山政策創造部長

関西広域連合委員会に関しまして、御報告をさせていただきます。

お手元の資料2を御覧ください。

2月定例会における御報告後、令和4年3月5日から5月19日までの間に計4回の委員会が開催され、主に関西圏域における新型コロナウイルス感染症への対応等に関して協議がなされておりますので、主な協議内容について御説明させていただきます。

1 ページを御覧ください。

3月5日、第28回関西広域連合新型コロナウイルス感染症対策本部会議を兼ねて実施された、第139回関西広域連合委員会での協議内容についてでございます。

新型コロナウイルス感染症への関西広域連合各構成府県市の対応状況等について情報共有を行うとともに、関西の府県市民に対し、現下のオミクロン株の特徴を踏まえ基本的な感染対策の徹底を呼び掛ける関西・感染防止再徹底宣言の発出を決定しました。

次に、3ページを御覧ください。

3月24日、第29回関西広域連合新型コロナウイルス感染症対策本部会議を兼ねて実施された第140回委員会におきましては、まん延防止等重点措置が3月21日に国で解除され、新規感染者数は減少傾向にあるものの、依然、家庭、高齢者施設、学校、保育所等において感染が続いており、特に年度末、年度始めを迎え、進学、就職、転勤、花見などで人々の移動や会食の機会が増加し、感染の拡大が懸念されることから、関西の府県市民に対し、基本的な感染防止対策の徹底を呼び掛ける、関西年度末・年度始め感染対策徹底宣言の発出を決定しました。

次に、5ページを御覧ください。

4月28日、第30回関西広域連合新型コロナウイルス感染症対策本部会議を兼ねて実施された第141回委員会での協議内容についてでございます。

大型連休を控え、帰省や旅行に伴う移動が増加し、ふだん会わない人との会食など人と人との接触機会が増えることから、関西の府県市民に対し、積極的なワクチン接種や基本的な感染対策の徹底を呼び掛ける、関西GW感染対策徹底宣言の発出を決定しました。

次に、7ページを御覧ください。

5月19日、第31回関西広域連合新型コロナウイルス感染症対策本部会議を兼ねて実施された第142回委員会においては、新規陽性者数が若い方々を中心に依然高止まりの傾向にあり、今後更なる拡大も懸念されることから、関西の府県市民に対し、ワクチンの積極的な接種、リスクの高い行動の回避、基本的な感染対策の徹底等と呼び掛ける、関西感染を広げない徹底宣言の発出を決定しました。

関西広域連合委員会に関する御報告は、以上でございます。

よろしくお願い申し上げます。

増富委員長

以上で説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

岡本委員

大阪・関西万博について、今回は補正予算ですが、一昨年の9月議会の代表質問で、迷ったんやけど、これは言ったほうがいいかなと思って、初めて大阪・関西万博を取り上げさせていただきました。知事が全力で取り組むと言ってくれて、昨年度かな、挙県一致協議会も立ち上げてくれて、本当に忙しい中、大変努力いただいていると思っています。

ごく簡潔に、補正予算の徳島「まるごとパビリオン」ゲートウェイ事業について、もうちょっと説明いただけますか。

奈良万博推進課長

ただいま岡本委員から、徳島「まるごとパビリオン」ゲートウェイ事業の概要について、御質問を頂戴いたしました。

本県は2025年の大阪・関西万博におきまして、関西広域連合の一員としてパビリオンに

出展することとさせていただいており、昨年度、県議会でも御論議を頂いて策定しました、大阪・関西万博「とくしま活性化・魅力創出」方針におきまして、万博は「ゲートウェイ」、徳島「まるごとパビリオン」～県民が参画し、県民が創る万博～というコンセプトを掲げておりまして、万博という舞台で先駆的な技術や伝統文化、県産食材などの徳島魅力発信に取り組むこととしております。

御質問のゲートウェイ事業につきましては、万博に関する徳島の情報を一元的に掲載するウェブサイト新たに構築する経費を計上させていただいております。

内容といたしましては、万博への機運醸成をはじめとする本県の取組や、万博で世界に発信する徳島の産業技術、観光、食、文化といったコンテンツを掲載いたしますとともに、県民の皆様から万博への御意見を頂くためのページも設けたいと考えております。

今後、この事業によりまして、早い段階から情報発信を進めまして、まるごとパビリオンと位置付けた本県への新たな人の流れの創出へとつなげてまいりたいと考えております。

岡本委員

新たな人の流れ、趣旨はよく分かります。徳島への玄関口という意味でいいのかな。山手線の高輪ゲートウェイかな。最近は慣れてきて、いいなと勝手に思っているんです。ゲートウェイというのはすごくいいなと思うんです。

徳島の玄関口という意味なんだけど、具体的にどのようにしてゲートウェイの機能を果たしていくのか、難しいと思うけれど答えて。

奈良万博推進課長

ただいま岡本委員から、ゲートウェイ機能というのは具体的にどのようなものかという御質問を頂きました。

先ほども申し上げましたけれども、万博は「ゲートウェイ」、徳島「まるごとパビリオン」というコンセプトを掲げさせていただいていることから、大阪夢洲の万博会場は、徳島へ人を呼び込むためのゲートウェイ、玄関口でありまして、徳島県全体がまるごとパビリオンであるという位置付けで、本県への新たな人の流れを作り出すことができるよう、積極的に取り組むという趣旨になっております。

そこで新たに構築するウェブサイトが担うゲートウェイ機能としまして、県内の産業技術、観光のコンテンツ、伝統文化、県産食材などの情報を一元的に掲載いたしまして、多くの方に徳島へ足を運んでもらえるよう魅力発信を展開いたしますとともに、関西広域連合のウェブパビリオンや日本国際博覧会協会のバーチャル万博といった、他の機関が計画しているインターネット上での情報発信と双方向のリンクを設けるなどの役割を担うものと考えております。

今後、新たに構築するウェブサイトから、本県の魅力を一元的かつ積極的に発信し、徳島「まるごとパビリオン」が多くの方でにぎわうよう、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

岡本委員

さっきの説明でいくと、予算は3,950万円、国支出金が2,950万円、一般財源が1,000万円ということは、多分、①の1,950万円は臨交金か何かで、一般財源は使っていないんだと思うんだけど、それでよかったです。

次に、とくしまバーチャルパビリオン発信力強化事業を説明していただきたい。これは2,000万円だから、多分、一般財源が2分の1の1,000万円だと思うんだけど、この二つのことを含めて、とくしまバーチャルパビリオン発信力強化事業をもうちょっと説明してください。

奈良万博推進課長

岡本委員から、ゲートウェイ事業の財源につきまして御質問いただきました。

ゲートウェイ事業につきましては、岡本委員がおっしゃるとおり、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てさせていただいております。

もう一つのバーチャルパビリオン発信力強化事業の概要につきましては、財源といたしましては地方創生推進交付金を2分の1充当させていただいております。

概要につきましては、万博まであと3年を切る中、機運を高めるためには、開幕に先行した情報発信が重要であると認識しております。インターネット上の三次元仮想空間メタバースを活用いたしまして、とくしまバーチャルパビリオンを5月13日にプレオープンしたところでございます。

このバーチャルパビリオンは、人形浄瑠璃やふすま襖からくりなどを上演する劇場と、阿波おどりの栈敷をイメージした仮想空間となっております。Clusterというアプリをダウンロードすることで、お持ちのスマホやタブレットで御覧いただくことができます。現段階では、パビリオン内でのユーザー同士の交流をはじめ、徳島の魅力を発信するPR動画、DMVのバーチャル動画体験といった機能を備えております。この度の補正予算案では、このバーチャルパビリオンの機能を拡充いたしまして、発信力を強化するため、AR、VR技術を生かした体験コンテンツの活用や仮想空間内で交流イベントを開催するなど、新たなスタイルにより情報発信を行う経費として計上させていただいております。

今後ともバーチャルパビリオンによる発信をはじめ、万博に向けた機運醸成と徳島の魅力発信にしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

岡本委員

分かるんですが、そもそもそのメタバースというのは、なかなか県民に分かりにくいと思うんです。メタバースを使うことによって、どのようなことができるのか、もうちょっと分かりやすくお願いします。

奈良万博推進課長

ただいま岡本委員から、メタバースを使うことでどのようなことができるのかという御質問を頂戴いたしました。

メタバースとは、インターネット上に三次元の立体的な画像により作られた仮想空間でございます。その仮想空間内での様々なサービスを指す言葉とされております。メタ

バースでは、個人ごとにアバターと呼ばれる自分の分身となるキャラクターを作りまして、時間と空間の制約を超え、現実の世界では遠く離れた場所にいる人同士でも同じ空間にいるかのように交流することができるものとなっております。具体例といたしましては、民間のものではございますけれども、先日、自民党青年局主催で牧島デジタル大臣や河野自民党広報本部長によるメタバース上での演説会、またサッカー日本代表戦のパブリックビューイングといったバーチャル空間上の街を会場としたスポーツ応援イベントといった事例がございます。

とくしまバーチャルパビリオンにつきましては、この予算案によりまして、徳島ならではのコンテンツをテーマとした交流イベントにより、魅力発信に取り組んでまいりたいと考えております。

岡本委員

仮想空間に多様な方が集まって交流できる。そこへみんなが慣れていかないかのやけれど、子供はいけるような気がするが、高齢者を含めてたくさんの方がこのバーチャルパビリオンを活用できるようにするためには、どう対応すべきなのか。なかなか先を見ると難しいんだけど、どうですか。

奈良万博推進課長

ただいま岡本委員から、高齢者をはじめ、たくさんの方が活用できるように、どのように取り組むのかという御質問を頂戴いたしました。

まず、子供たちに対する取組といたしましては、万博全体のテーマが、いのち輝く未来社会のデザインとなっていることもございまして、万博を機に、子供たちに新しい技術を体験していただくことは非常に重要であると考えております。

開幕前から世界と交流できるバーチャルパビリオンを他県に先行してプレオープンいたしまして、最大限に生かして、万博への機運醸成と徳島の魅力発信を積極的に行ってまいりたいと考えております。

また、高齢者をはじめ、多くの方が活用できるようにということでございます。

バーチャルパビリオンを5月13日にプレオープンした際に、県庁1階のすだちくんテラスに、VRゴーグルを使ってメタバースを体験できる展示を5月末まで実施してございまして、この間にお越しになった県民の皆様には、メタバースの世界を体験していただきました。

今後は、県内で行われる様々な生涯学習の講座の会場を活用させていただくとともに、小中高等学校への周知も図るなど、体験展示の機会を設けまして、世代を問わず、多くの方にバーチャルパビリオンを体験していただきたいと考えております。

岡本委員

すごくいいことだと思っています。バーチャルパビリオンというのは、関西万博の中で、ほかにやるところはあるのか。

奈良万博推進課長

ただいま岡本委員から、ほかにバーチャルパビリオンが展開されているのかという御質問でございます。

現在、都道府県等で展開しておりますのは大阪府、大阪市でございます。民間につきましては、バーチャル渋谷というものが展開されているというふうに確認しております。

岡本委員

大阪のうちだけやったらいい。すごく目立つよね。これは目立たないかん話だから、頑張ってもらいたいと思うんです。

予算に戻るけれど、1,950万円と2,000万円は全部臨交金でいけるんじゃないかな。気にしてやったんだろうけれども、2,000万円のうち1,000万円は一般財源じゃないですか。それだけ頑張っているんだったら、全部、財政にお願いしたらと私は勝手に思っているんです。この予算に入れていただいてすごく有り難いです。3,950万円ではよかったなと思う。でも、まだまだこれからです。

私も関西広域連合に行くことになっているんですけど、本当に今から3月までのこの1年が勝負なんです。そのうちまた臨交金があるから頑張る。私も財政に言おうと思うけれど、しっかり予算を付けて、ここで徳島を売り出さないかん。正にゲートウェイとしての徳島をしっかり分かってもらわないかんと思うので、頑張ってください。

古川委員

1点だけ。原油価格と物価高騰の対策が今、喫緊の課題となっています。

国においても、4月26日に総合緊急対策を決定いたしました。公明党も政府に強く要請して、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充して、コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分の創設となっております。これによって、各自治体が創意工夫をして、生活に困窮する方々の生活支援、学校給食等の負担軽減など子育て世代への支援、農林水産業や運輸、交通分野をはじめとする中小企業者等への支援といったことが具体的に例を挙げられて、こういうことをやっていこうということで明記されているところです。こういったことを各自治体、市町村が確実に実現していただければいけないと思っております。

既に4月28日付けで各自治体への交付限度額が通知されたと聞いておりますので、県として、各市町村に対して、これらの取組への周知、支援していくということが、本当に有効に使われていくことが大事ですので、このあたりをどう考えているのか、教えていただけますか。

河原とくしまぐらし応援課長

ただいま古川委員から、新型コロナの臨時交付金、原油価格・物価高騰対応分の市町村分の有効な活用についてということで、御質問を頂きました。

先ほど委員からも説明いただいたんですけども、今回の臨時交付金の市町村分については、24市町村合計で約30億円が配分されております。

今回のこの臨時交付金につきましては、コロナ禍において原油価格、物価高騰等に直面する生活に困っている方、また事業者の方の活動を支援するという目的で交付されてお

ます。

国からも示されている具体的な活用例では、地域経済の活性化、生活者支援を目的としたプレミアム商品券の発行、事業者に対する燃料費高騰の負担軽減というようなものが示されており、これらに限らず、各自治体の判断で地域の実情に応じた必要な取組に活用可能ということになっております。

県内市町村により、当然それぞれに抱えている状況、事情は異なりますので、どう活用していくのかということは、各市町村において決定されるものでございますけれども、このコロナ禍で、原油価格、物価高騰等の影響を受けて困っている住民の方、また事業者の方の支援につながるように、県といたしましても、市町村において有効に活用されるように、市町村と情報共有、情報提供しながら取り組んでまいりたいと考えております。

古川委員

当然、地域の事情、各自治体の事情に応じて、きちんと趣旨を伝えて、いろいろ工夫してやってもらったらいいと思うんです。私も今、時期的に各市町村長と個別に会う機会が多いんですけども、交付金の状況を聞きますけれど、うちはこんなんで作っているんだというところもあれば、玉出しに困っているというところもあります。ですから、県としても状況を聞いてあげるとか、バックアップをして有効に使えるようにサポートしていただきたいなと思います。

この流れとしてはどんな感じなんですか。県のほうに申請があつて国に上がっていくとか。国の実施計画の締切りは7月29日と聞いているんですけども、しかも、議会において予算額の決定をしておれば、交付決定前でも事業実施できるということで聞いていますけれども、このあたりも含めて、この流れとか周知とかができているのか、教えてください。

河原とくしまぐらし応援課長

今後のスケジュールということですが。

今、委員からも御紹介いただきましたとおり、国への計画の提出期限は7月29日となっております。手続につきましては、当課のほうで各市町村の計画を取りまとめの上、国に出していくという形になります。そこに向け、市町村からどういう活用方法があるかという相談について、積極的に協力、助言をして、有効に活用されるように取り組んでまいりたいと考えております。

古川委員

そしたら県の締切りは提示しているんですか。それと、先ほど言った交付決定前でも事業着手できるというのは、きちんと伝えられていますか。

河原とくしまぐらし応援課長

まず、県への提出期限というところですが。こちらについては7月22日と設定させていただいております。

また、着手につきましては、国からの要綱といったものも示されておりますので、当然そ

れらも含めて、市町村には限度額をお伝えするときに、説明を丁寧にさせていただいているところがございます。

古川委員

繰り返しになりますけれど、県もほったらかしにせずに、しっかりグリップしてやっていってほしいと思います。よろしくお願いします。

増富委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、政策創造部関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（12時03分）